

社会福祉法人浅間福祉会 平成 29 年度運営方針

『出来ない理由を並べるのではなく、出来る方法を考え行動しよう』

1. 経営の効率化を図る

- ・厳しい外部環境の中、職員への処遇水準を維持し、かつ施設経営を永続するための業務改善に取り組む。(外部環境の変化に対応、チーム統合を前進させる)

2. 地域・利用者・家族へのサービス満足度の向上 (選ばれる施設)

- ・様々なケースの受け入れ・工夫・努力
- ・接遇技術の向上 (言葉遣い・態度等)
- ・家族との意思疎通
- ・相談員 2 名体制 (最優先で対応)
- ・サービス提供の効率化

3. 目標稼働率の達成・加算の獲得

- ・入所 93.0 人、通所 22.0 人、居宅 60 件／月、あさがお満床を目標とする。
 - ①相談員 2 名体制による入退所への対応強化
 - ②医師・看護師の協力により、可能な限り施設での治療・経過観察を行う
 - ③利用者のニーズに応じた退所指導。(在宅復帰、施設継続、在所期間に拘らない)
 - ④施設の特性を打ち出す。(認知症対応・リハビリ施設)
 - ④特養あさがおへの待機者確保
 - ⑤外部施設等との連携
- ・外部環境の変化に対応し、目標稼働率を見直し確実な利用者数を確保する。取得可能な新たな加算の算定に取り組む。

4. ルール遵守・仕事への姿勢・助け合い (※今年度の人事評価の重点項目とする)

- ・職場ルールの遵守 (希望休、急な休み、安易な勤務変更、勤務中の私語、スマホ使用、無断で持ち場を離れるなど)
- ・緊急事態等への協力 (他ユニット応援、勤務変更、チーム異動)
- ・上長の指示・命令などへの協力姿勢

5. 施設改修と老朽備品の入れ替え

- ・緊急性の高い案件から計画的に実施する。(29 年度・30 年度 2 ヶ年計画)
29 年度一風呂修繕 (大風呂・脱衣所)、機械浴槽、リフト浴レール、厨房床工事、ベッド入れ替え、トイレ手すり、食堂床張替え、ボイラー修理、必要物品の入れ替えなど、

6. 経費節減を図る

エアコン・電灯・床暖房の適正使用によりムダをなくす。備品・消耗品等を検討し使用方法を常に見直す。

おむつの使用量など評価・検証して適正化を進める。

7. 小諸市介護保険事業者研究交流集会研修会の実施・運営

今年度は、上記研修会の当番幹事であり、施設内に運営委員会を組織して取り組む。